



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 三光産業株式会社
コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理担当 (氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,052	△12.3	△163	—	△166	—	139	—
28年3月期第1四半期	2,340	13.5	△62	—	△25	—	△23	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 165百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	22.46	—
28年3月期第1四半期	△3.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,014	—	8,480	—	—	75.7
28年3月期	10,837	—	8,358	—	—	75.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 8,334百万円 28年3月期 8,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	1.7	75	—	100	—	380	—	61.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	7,378,800 株	28年3月期	7,378,800 株
29年3月期1Q	1,185,791 株	28年3月期	1,185,791 株
29年3月期1Q	6,193,009 株	28年3月期1Q	6,193,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にありましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速や英国のEU離脱問題などを背景に、先行きは不透明な状況となりました。

印刷業界につきましては、印刷需要の減少などにより、受注環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと当社グループは、平成28年度の利益計画を達成するための戦略として、「1. 全社、全事業所をあげて利益獲得をめざす、2. 海外事業の安定と強化、3. 設備投資部門への全社一丸となった支援体制」を掲げ、業績回復に向けて総力をあげて取り組んでおります。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の売上高は、中国経済の減速による受注の減少等により、2,052百万円（前年同期比87.7%）と前年同期を下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少に加え、タッチパネル製品の歩留率の悪化や人件費等の増加による売上原価率の上昇により、営業損失163百万円（前年同期は62百万円の営業損失）、為替差損等の計上により、経常損失166百万円（前年同期は25百万円の経常損失）となりましたが、方南工場跡地等を売却し、固定資産売却益を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は139百万円（前年同期は23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度より、従来「マレーシア」としておりました報告セグメントの名称を「アセアン」に変更しております。

① 日本

タッチパネル製品の幅広い営業展開と一般シール・ラベル等の安定的受注確保のため、既存分野への新規製品の拡販、新業種・新業界への営業展開を行っております。また、製造部門につきましては、統合後の長野工場の生産効率の向上、川越工場の最新鋭設備の稼働確保のための内製化を進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,581百万円（前年同期比102.2%）となりましたが、タッチパネル製品の歩留率の悪化等により、セグメント損失は79百万円（前年同期は33百万円のセグメント利益）となりました。なお、日本に所属する連結子会社は、三光プリンティング株式会社であります。

② 中国

日本国内に新設された海外事業所を統括する営業部門との連携強化により、相互間の情報の共有化等を深め、既存得意先の受注活動強化と新規得意先開拓を行うとともに、製造面につきましては稼働率・生産効率の向上、徹底した経費の削減等を行っておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上高は350百万円（前年同期比53.4%）、セグメント損失は62百万円（前年同期は46百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国に所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子(深圳)有限公司であります。

③ アセアン

サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. につきましては、徹底したコスト削減、経費圧縮等を行い、また、日本等からの営業面・生産面における支援体制により、業績は回復基調に転じております。また、平成27年5月にタイ王国（バンコク都）に設立いたしましたサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. は、国内外の支援等により、早期に会社目標の売上・利益を達成すべく事業展開しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は120百万円（前年同期比87.9%）、セグメント損失は21百万円（前年同期は36百万円のセグメント損失）となりました。なお、アセアンに所属する連結子会社は、サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. 及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,014百万円となり、前連結会計年度末比176百万円増加いたしました。これは、主に売却等により有形固定資産が424百万円、保有社債の満期償還により有価証券が100百万円減少いたしました。現金及び預金が734百万円増加したことによるものであります。

負債総額は2,533百万円となり、前連結会計年度末比54百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金の仕入債務が95百万円増加し、賞与引当金が53百万円減少したことによるものであります。

また、純資産額は8,480百万円となり、前連結会計年度末比121百万円増加いたしました。主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は75.7%（前連結会計年度末は75.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法（ただし、海外連結子会社については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より当社の有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更いたしました。この変更は、シール・ラベルの国内市場が成熟している現在の環境下において、前連結会計年度に完了した最適生産体制への取り組みにより、国内工場を集約し市場ニーズに適した生産体制を再構築したことを契機としたものであります。

当社グループのシール・ラベル事業の日本国内の需要は緩やかな減少傾向が続いており、この傾向に対処すべく、希望退職の実施等一連の構造改革を実施し、国内における生産効率の向上と原価低減による事業の存続をより確かなものとする施策を進めてまいりました。この取り組みは、前連結会計年度における国内シール工場の統廃合により終了し、今後は外注依頼している受注の取り込み等、内製化の推進により既存生産の維持と操業の安定化が実現する見込みであります。

これを契機に、安定稼働が見込まれる設備の使用実態を適切に反映させるため、当第1四半期連結会計期間より当社の有形固定資産の償却方法として従来の定率法から定額法へと変更することがより適切と判断いたしました。

この変更に伴い、従来の方法と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は14,272千円減少したことで、営業損失、経常損失はそれぞれ11,188千円減少し、税金等調整前四半期純利益は11,188千円増加しております。

なお、この変更がセグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,632,791	3,367,055
受取手形及び売掛金	2,981,155	2,839,168
有価証券	201,430	101,016
商品及び製品	361,921	387,269
仕掛品	117,057	124,265
原材料及び貯蔵品	185,336	224,857
その他	108,735	72,770
貸倒引当金	△257	△337
流動資産合計	6,588,170	7,116,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,137,650	2,786,516
減価償却累計額	△2,068,690	△1,801,253
建物及び構築物(純額)	1,068,960	985,262
機械装置及び運搬具	2,790,252	2,810,555
減価償却累計額	△2,247,412	△2,263,973
機械装置及び運搬具(純額)	542,839	546,581
工具、器具及び備品	212,815	205,712
減価償却累計額	△181,954	△175,781
工具、器具及び備品(純額)	30,860	29,930
土地	1,635,488	1,286,302
リース資産	21,133	27,388
減価償却累計額	△14,481	△15,477
リース資産(純額)	6,652	11,910
有形固定資産合計	3,284,800	2,859,987
無形固定資産		
ソフトウェア	3,705	3,366
無形固定資産合計	3,705	3,366
投資その他の資産		
その他	1,034,255	1,108,118
貸倒引当金	△73,455	△73,467
投資その他の資産合計	960,799	1,034,651
固定資産合計	4,249,305	3,898,005
資産合計	10,837,476	11,014,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,718,531	1,814,429
未払法人税等	9,906	37,028
賞与引当金	107,800	54,783
その他	280,349	233,357
流動負債合計	2,116,588	2,139,598
固定負債		
長期未払金	35,103	35,103
退職給付に係る負債	285,602	280,807
その他	41,675	78,403
固定負債合計	362,380	394,313
負債合計	2,478,969	2,533,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,272,820
利益剰余金	4,849,516	4,945,283
自己株式	△1,013,834	△1,013,834
株主資本合計	7,959,251	8,055,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,298	254,794
為替換算調整勘定	68,258	24,471
その他の包括利益累計額合計	253,557	279,266
非支配株主持分	145,697	145,873
純資産合計	8,358,507	8,480,158
負債純資産合計	10,837,476	11,014,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,340,852	2,052,363
売上原価	1,925,625	1,759,605
売上総利益	415,226	292,758
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	185,009	198,858
賞与引当金繰入額	30,714	36,855
退職給付費用	11,611	11,698
福利厚生費	37,936	40,063
その他	212,870	168,914
販売費及び一般管理費合計	478,141	456,389
営業損失(△)	△62,914	△163,630
営業外収益		
受取利息	873	1,229
受取配当金	6,147	8,379
有価証券売却益	23,089	-
その他	7,200	5,405
営業外収益合計	37,310	15,014
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	132	75
為替差損	-	16,298
その他	92	1,920
営業外費用合計	225	18,294
経常損失(△)	△25,829	△166,911
特別利益		
固定資産売却益	27	353,620
特別利益合計	27	353,620
特別損失		
固定資産処分損	0	-
投資有価証券評価損	-	25,183
特別損失合計	0	25,183
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,802	161,525
法人税、住民税及び事業税	800	23,720
法人税等調整額	2,985	1,833
法人税等合計	3,785	25,553
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,587	135,972
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,701	△3,146
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,886	139,118

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,587	135,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,958	69,495
為替換算調整勘定	△38,753	△40,465
その他の包括利益合計	1,205	29,030
四半期包括利益	△28,382	165,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,126	164,826
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,255	175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,548,131	655,950	136,770	2,340,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	394,420	121,839	20,870	537,130
計	1,942,551	777,790	157,641	2,877,983
セグメント利益又は損失(△)	33,916	△46,551	△36,276	△48,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△48,911
セグメント間取引消去	△14,003
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△62,914

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,581,838	350,351	120,173	2,052,363
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,923	13,901	778	140,603
計	1,707,761	364,252	120,952	2,192,966
セグメント損失(△)	△79,431	△62,820	△21,255	△163,507

(注) 当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日と比べ、報告セグメントの資産の金額は、「日本」セグメントにおいて432,222千円減少しております。これは方南工場及び三光プリンティング株式会社板橋工場の工場跡地売却によるものです。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△163,507
セグメント間取引消去	△123
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△163,630

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

タイに連結子会社サンコウサンギョウ(バンコク)CO.,LTD.を設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、前第4四半期連結会計期間より従来「マレーシア」と表示しておりました事業セグメントをタイ地域を加えた「アセアン」に変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

前第1四半期連結会計期間への影響はセグメント名称の変更のみであります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定率法(ただし、海外連結子会社については定額法)によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より当社において定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント損失が、日本セグメントで、11,188千円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。